

ユーシン

# 景況レポート

Number.96  
(2018.4~6月期)

結城信用金庫

■ このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業229企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

## 不動産業除く5業種で低下もしくは悪化

### 4月~6月期の概況

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は $\Delta 4.8$ と、2018年1~3月期(前期)の調査より2.6ポイントマイナスとなり、景況感はわずかに低下しました。

業種別では、製造業で前期比5.5ポイント、卸売業で同3.1ポイント、小売業で同4.1ポイント、サービス業で同3.3ポイント、建設業で同2.8ポイント低下しましたが、不動産業だけが16.7ポイント改善となりました。

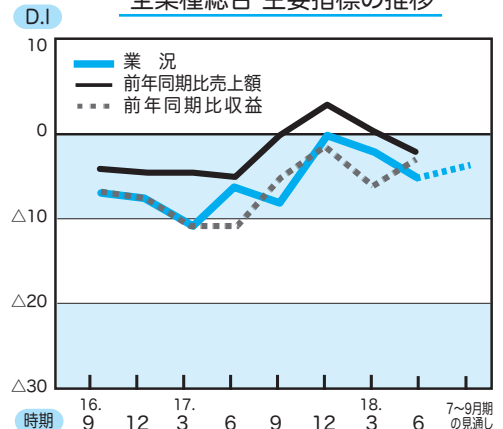
項目別では、売上判断D.Iが $\Delta 1.7$ と前期比0.4ポイント低下しました。収益判断D.Iは $\Delta 5.3$ と横ばい。また、前年同期比売上額判断D.Iは $\Delta 2.2$ 、前期比 $\Delta 2.6$ ポイント、同収益判断D.Iは $\Delta 3.1$ と、3.5ポイント改善しました。

雇用面では、人手過不足D.Iが $\Delta 22.7$ と前期比1.2ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と適正となりました。

借入金の動きや借入難易度では、「借入した」が前期比0.2ポイント減少となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が35.4%、「売上の停滞・減少」が29.7%、「人手不足」が26.2%と上位となり、前期とほぼ同様の課題が挙げられました。

全業種総合 主要指標の推移



### 7月~9月期の見通し

#### 業況の見通し判断D.Iは $\Delta 3.5$ 、実績比1.3ポイント改善の見込

来期、全体では改善、製造業・卸売業・不動産業で改善を見込んでいます。項目別では、売上判断D.Iが当期実績比1.7ポイント、収益判断D.Iでも同3.6ポイント改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期比横ばいです。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.9ポイント改善、また、残業時間D.Iは0.0と適正の見通しとなっています。

当面の重点施策でも、「経費の節減」が50.7%、「販路を広げる」が40.2%、「人材を確保する」が23.6%と上位になり、前期と同様の結果となりました。

### 景況天気図

[この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました]

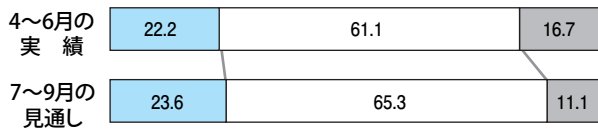
業種名	時期	30年1~3月	30年4~6月	30年7~9月見通し	概	要
総合					業況判断D.Iは、2.6ポイント低下し $\Delta 4.8$ 。来期は、1.3ポイント改善し $\Delta 3.5$ の見通し。	
製造業					業況判断D.Iは、5.5ポイント低下し5.6。来期は、6.9ポイント改善し12.5の見通し。	
卸売業					業況判断D.Iは、3.1ポイント低下し $\Delta 21.2$ 。来期は、3.0ポイント改善し $\Delta 18.2$ の見通し。	
小売業					業況判断D.Iは、4.1ポイント低下し $\Delta 34.1$ 。来期は、2.5ポイント悪化し $\Delta 36.6$ の見通し。	
サービス業					業況判断D.Iは、3.3ポイント低下し $\Delta 3.3$ 。来期は、3.4ポイント悪化し $\Delta 6.7$ の見通し。	
建設業					業況判断D.Iは、2.8ポイント低下し14.3。来期は、8.6ポイント悪化し5.7の見通し。	
不動産業					業況判断D.Iは、16.7ポイント改善し $\Delta 11.1$ 。来期は、11.1ポイント改善し22.2の見通し。	

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

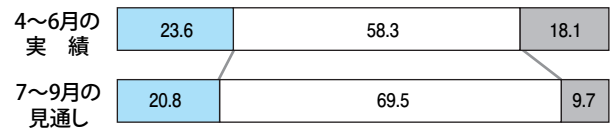
## ■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

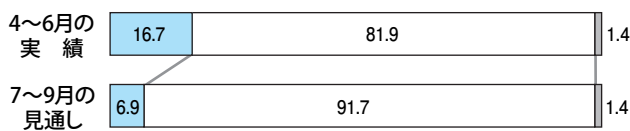
## 【業況】



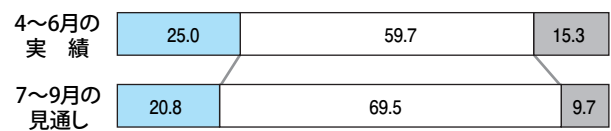
## 【売上額】



## 【原材料価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 4月～6月期の概況

## 業況判断D.Iは5.6、前期比5.5ポイントの悪化

項目別では、売上額判断D.Iが5.6と前期比1.3ポイント低下、収益判断D.Iは9.7と同2.8ポイント改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは4.2、前期比0.0ポイント、同収益判断D.Iは4.2、同1.4ポイント改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△23.6と前期比5.6ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iも5.6と前期比9.7ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が34.7%（前期28.2%）、「予定あり」が23.6%（前期19.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は16.7%（前期16.7%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が25.0%、「売上の停滞・減少」が23.6%、「人手不足」が26.4%と上位に挙げられました。

## 7月～9月期の見通し

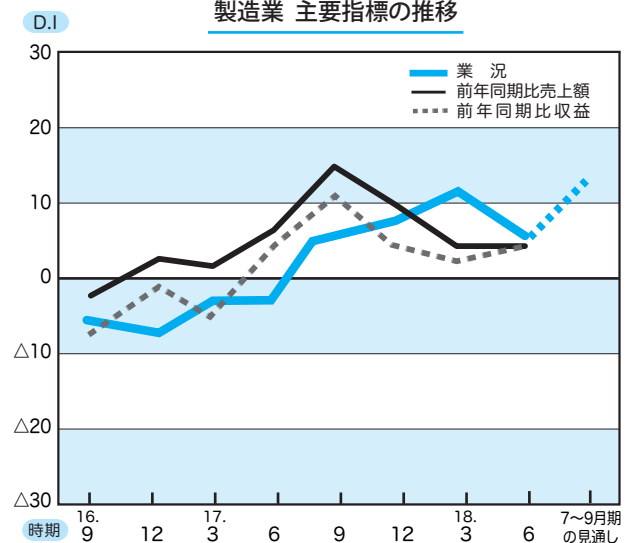
## 業況の見通し判断D.Iは12.5、当期実績比6.9ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.5ポイント改善、収益判断D.Iは同1.4ポイント改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比2.8ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比4.2ポイント改善、残業時間D.Iは同2.8ポイント減少の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が48.6%、「販路を広げる」が45.8%、「人材を確保する」が26.4%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



## 調査員のコメントから

原油価格が上昇傾向にあり、今後、厳しい経営環境におかれることが予想されることから、経費削減に努めていく必要がある。

## ■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

## 【業 況】

4～6月の 実績	12.1	54.6	33.3
7～9月の 見通し	12.1	57.6	30.3

## 【売上額】

4～6月の 実績	21.2	42.4	36.4
7～9月の 見通し	18.2	54.5	27.3

## 【仕入価格】

4～6月の 実績	27.3	60.6	12.1
7～9月の 見通し	21.2	69.7	9.1

## 【収 益】

4～6月の 実績	21.9	37.5	40.6
7～9月の 見通し	12.1	63.7	24.2

増加・やや増加 (良い・やや良い)
  変わらず(変化無し)
  やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 4月～6月期の概況

## 業況判断D.Iは△21.2、前期比3.1ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△15.2と前期比3.0ポイント、収益判断D.Iも△18.8と同5.5ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△3.0、前期比12.2ポイント、同収益判断D.Iも△9.1、同18.2ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△24.2と前期比6.0ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは9.4と同12.4ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が18.2%（前期24.2%）、「予定あり」が25.0%（同18.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は12.1%（前期12.1%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が33.3%、「売上の停滞・減少」が27.3%、「取引先の減少」が21.2%と上位に挙げられました。

## 7月～9月期の見通し

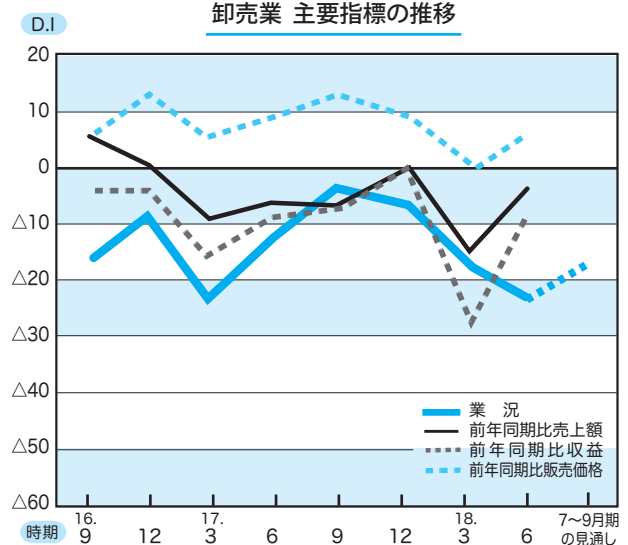
## 業績の見通し判断D.Iは△18.2と当期実績比3.0ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比6.1ポイント、収益判断D.Iは同6.7ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比0.0ポイントで横ばいでの推移を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比0.0ポイントですが、やや不足感が見込まれ、残業時間判断D.Iは9.4ポイント減少し適正の見込みとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が78.8%、「経費の節減」が48.5%、「情報力の強化」も27.3%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



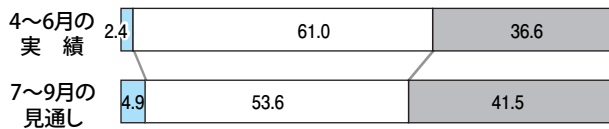
## 調査員のコメントから

販売店(小売店)等の廃業により、売上は減少傾向にある。過剰在庫の見直しを図るなど、経費削減に努める必要がある。

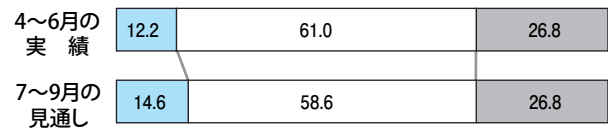
## ■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

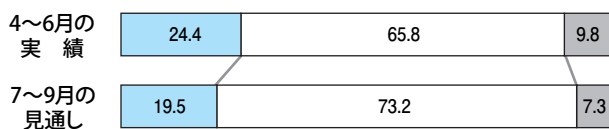
## 【業 況】



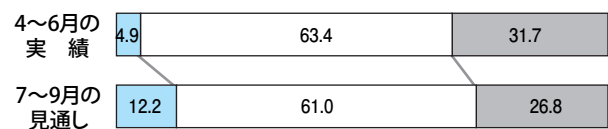
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 4月~6月期の概況

## 業況判断D.Iは△34.1、前期比4.1ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△14.6と前期比12.1ポイント、収益判断D.Iは△26.8と同11.8ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△19.5、前期比9.5ポイント、同収益判断D.Iは△22.0、同4.5ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.5と前期比12ポイント悪化し、人手不足感が拡大しました。また、前期比残業時間D.Iは△7.3と前期比低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.0%（前期30.0%）、「予定あり」が14.6%（前期17.5%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は4.9%（前期10.0%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が53.7%、「同業者間の競争激化」が36.6%、「利幅の縮小」が29.3%と上位に挙げられました。

## 7月~9月期の見通し

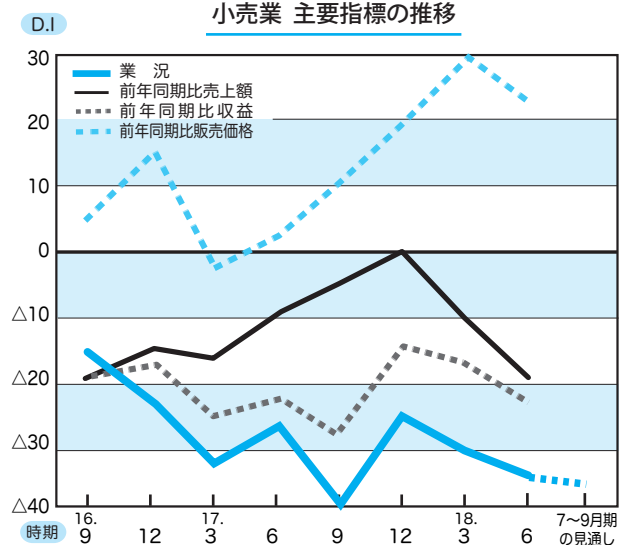
## 業況の見通し判断D.Iは△36.6、当期実績比2.5ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比2.4ポイント、収益判断D.Iでも12.2ポイントの改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比2.5ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iは同2.4ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が65.9%、「品揃えを改善する」が31.7%、「売れ筋商品の取扱」が19.5%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



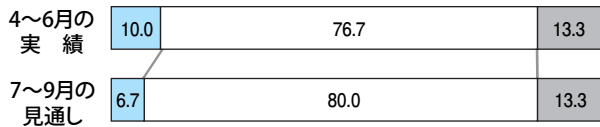
## 調査員のコメントから

品揃えや価格において大型店に対抗できないため、サービスに力を入れ、競合店との差別化を図っている。

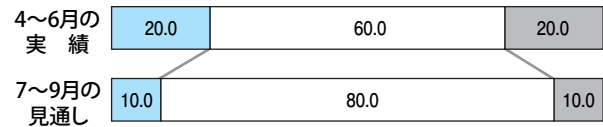
## ■ サービス業

回答企業数30企業(回答率96.8%)

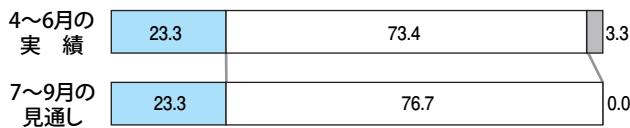
## 【業況】



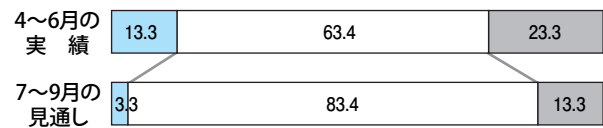
## 【売上額】



## 【材料価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 4月~6月期の概況

## 業況判断D.Iは△3.3、前期比3.3ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが0.0、前期比6.9ポイント、収益判断D.Iは△10.0と同3.8ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは0.0、前期比3.3ポイント悪化、同収益判断D.Iは△3.3、同3.4ポイント改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△6.7と前期比3.4ポイント悪化し、人手不足感がわずかに増加しました。また、前期比残業時間D.Iは△3.3と前期比6.7ポイント改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.7%(前期10.0%)、「予定あり」が10.0%(前期6.7%)を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は13.3%(前期10.0%)となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が50.0%、「売上の停滞・減少」が23.3%、「人手不足」・「人件費の増加」がそれぞれ16.7%と上位に挙げられました。

## 7月~9月期の見通し

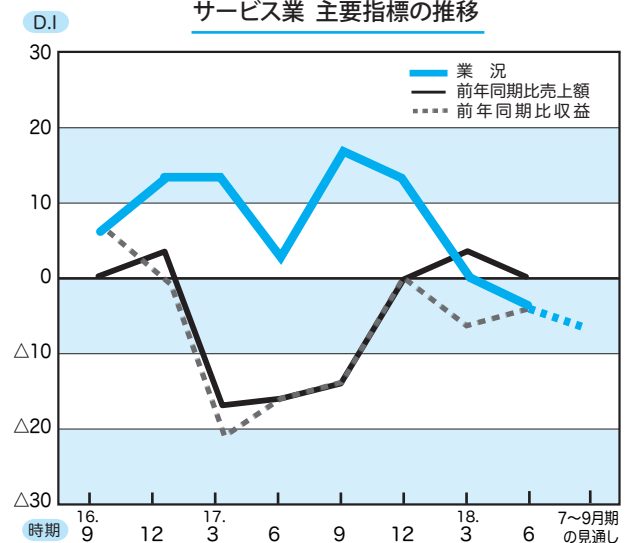
## 業況の見通し判断D.Iは△6.7、当期比3.4ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iも横ばいを見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比3.3ポイントの上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iも横ばい見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が56.7%、「販路を広げる」が33.3%、「技術力の強化」・「宣伝・広告の強化」が16.7%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



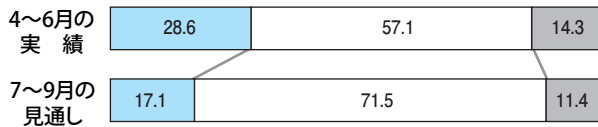
## 調査員のコメントから

業況は堅調に推移、受注状況も安定しており、売上・利益共に順調である。また、定期的に設備導入もしている。今後の課題は事業承継時期である。

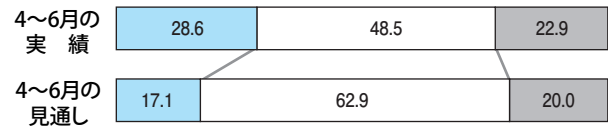
## ■ 建設業

回答企業数35企業(回答率97.2%)

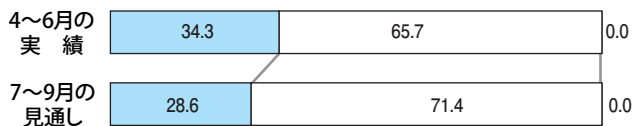
## 【業況】



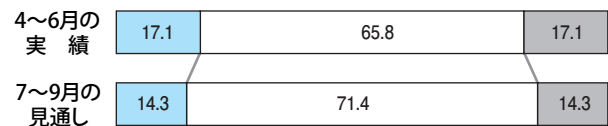
## 【売上額】



## 【材料価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)  
 ■ 変わらず(変化無し)  
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 4月~6月期の概況

## 業況判断D.Iは14.3、前期比2.8ポイントの悪化

項目別では、売上額判断D.Iが5.7と前期比5.8ポイント悪化、受注残判断D.Iは△2.9と同8.6ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは2.9、前期比14.2ポイント悪化、同収益判断D.Iは5.7と横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△37.1と前期比2.9ポイントわずかに上昇しましたが、まだ、人手不足感があります。また、前期比残業時間D.Iは△5.7と前期比11.4ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が34.3%（前期45.7%）、「予定あり」が22.9%（前期34.3%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は5.7%（前期17.1%）となりました。

経営上の問題点では「人手不足」が51.4%、「同業者間の競争激化」が48.6%、「利幅の縮小」が22.9%と上位に挙げられました。

## 7月~9月期の見通し

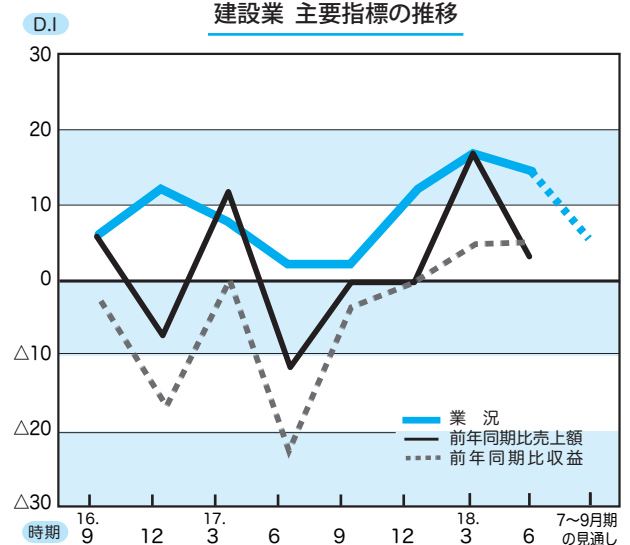
## 業況の見通し判断D.Iは5.7、当期比8.6ポイント悪化の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比8.6ポイント悪化、収益判断D.Iは0.0ポイントで横ばいを見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比5.7ポイントの下降を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.9ポイントの低下、残業時間判断D.Iは0.0ポイントと適正見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が54.3%、「人材を確保する」・「販路を広げる」が共に45.7%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



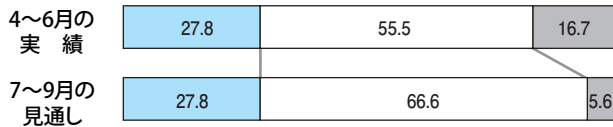
## 調査員のコメントから

ほぼ例年並みの受注を確保。しかし、資材価格の高騰や、受注に対して人員確保が難しいなど問題が山積している。

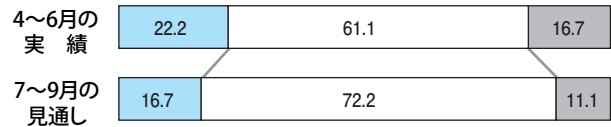
## ■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

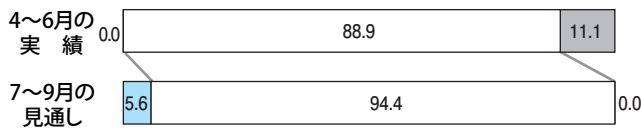
## 【業況】



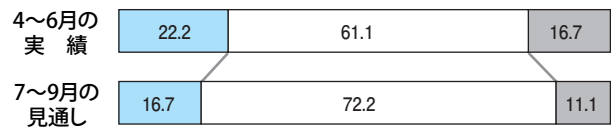
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 4月～6月期の概況

## 業況判断D.Iは11.1、前期比16.7ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが5.6と前期比22.2ポイント、収益判断D.Iは5.6と同22.2ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは0.0、前期比横ばい、収益判断D.Iは5.6、同11.2ポイント改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2と前期比横ばいで、人手不足感がありました。また、前期比残業時間D.Iは△5.6と同12.2ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が27.8%（前期16.7%）、「予定あり」は22.2%（前期22.2%）を示しています。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が33.3%、「同業者間の競争激化」・「商品物件の不足」が共に27.8%と上位に挙げられました。

## 7月～9月期の見通し

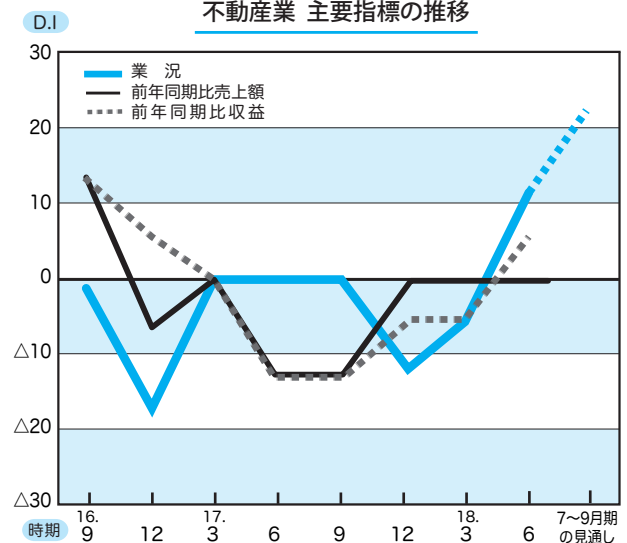
## 業況の見通し判断D.Iは22.2、当期実績比11.1ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iも横ばいで、ともに横ばいを見込んでおります。また、販売価格判断D.Iは当期実績比16.7ポイントの増加を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間D.Iは11.2%増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が55.6%、「宣伝・広告の強化」が50.0%、「販路を広げる」が38.9%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



## 調査員のコメントから

現在、分譲地等、商品物件が品薄の状況。しかし、今後は人口減少に伴い取引減少が課題となってくる。

特別  
調査

## 中小企業経営に関する各種支援制度の利用について

中小企業経営に関する各種支援制度の利用について調査を実施しました。

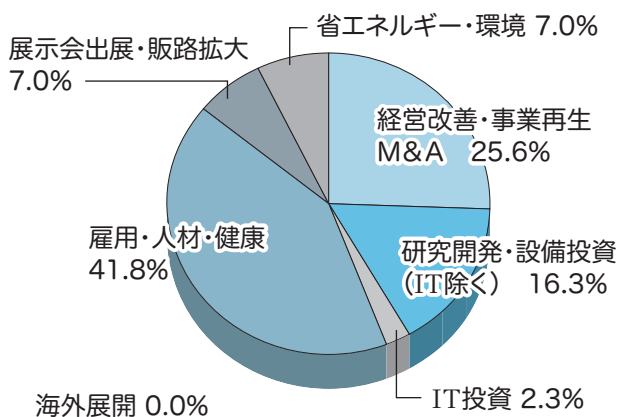
国や都道府県等では、中小企業支援に係る補助金や助成金制度が用意されていますが、それらの中で貴社が特に役立ったと考えのものは、雇用・人材・健康が41.8%、次いで経営改善・事業再生・M&Aが25.6%という結果となりました。尚、貴社では、これまで公的機関等が主催するセミナーに参加したことがあると回答された方の中で、「補助金活用」の7.0%が最も高く、次いで「税務相談」の6.2%でありました。そのほか、これまで参加した公的機関や金融機関等が主催する商談会やビジネスフェアのなかで役に立ったと考えのものを、専門家派遣や相談窓口を利用したことはありますか、支援制度を利用するにあたり、それらの情報を主にどこから入手しましたか、などについての結果を、次のように取り纏めました。

## 問1

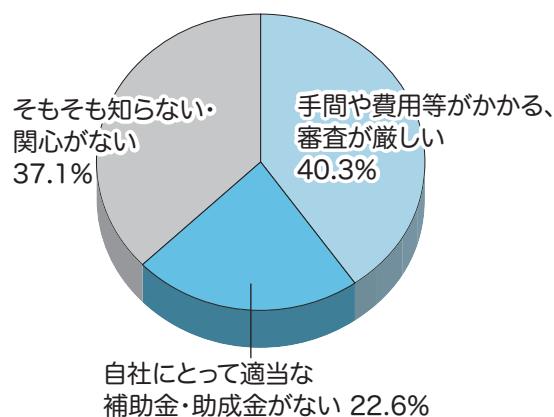
国や都道府県等では、中小企業支援に係る補助金や助成金制度が用意されています。それらの中で貴社が特に役立ったとお考えのものはございますか。

(単位：%)

## 【活用したことがある】



## 【活用したことがない理由】

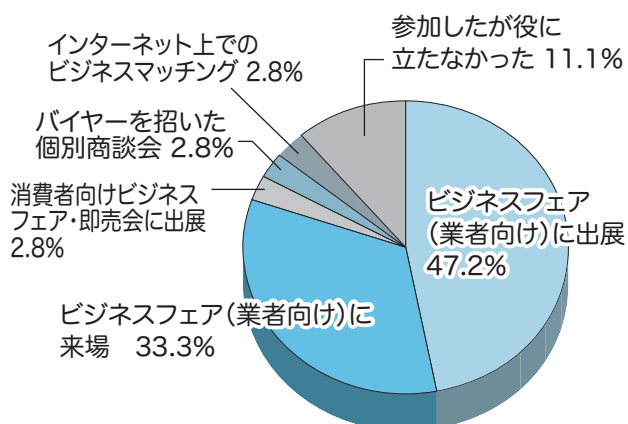


## 問2

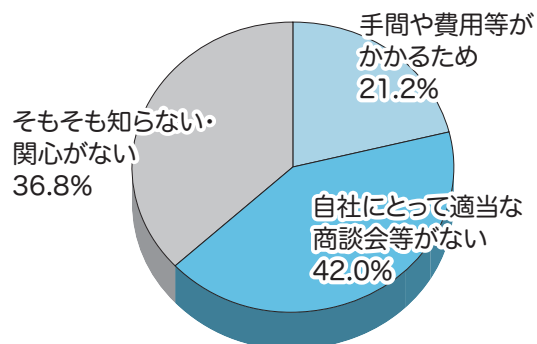
貴社では、これまで参加した公的機関や金融機関等が主催する商談会やビジネスフェアのなかで、役に立ったとお考えのものはありますか。

(単位：%)

## 【参加したことがある】



## 【参加したことがない理由】



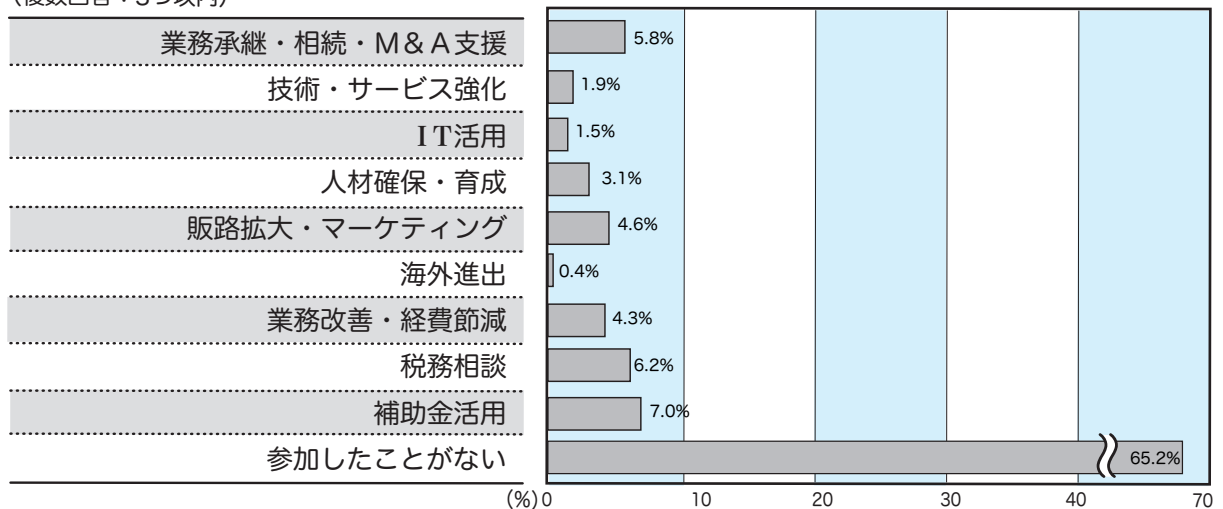


## 問3

貴社では、これまで公的機関等が主催するセミナーに参加したことがありますか。参加したことがある場合、特に役に立ったテーマをお答えください。

(単位：%)

(複数回答：3つ以内)

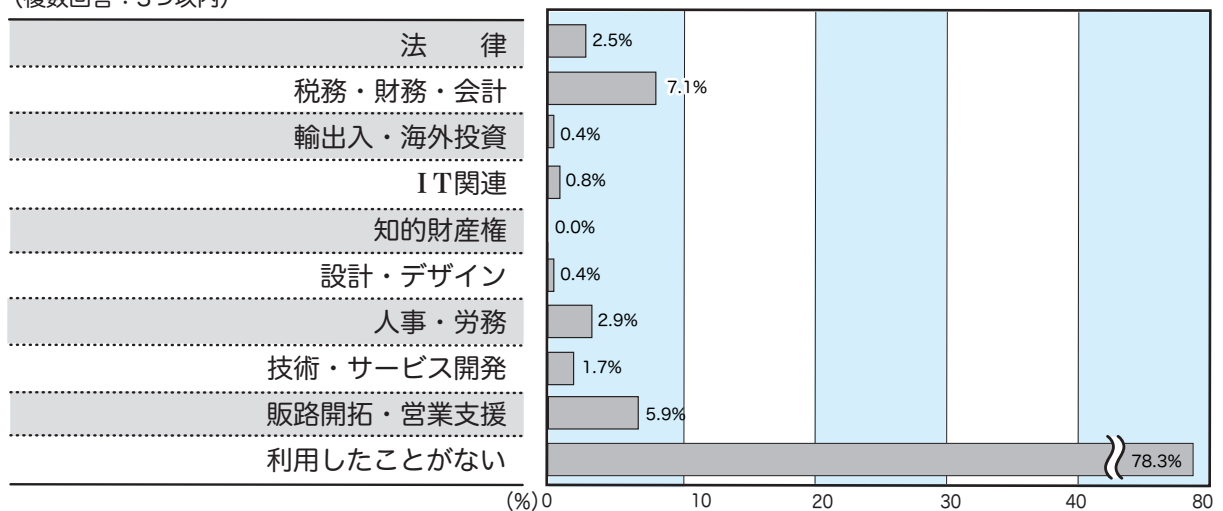


## 問4

貴社では、公的機関や金融機関が行っている専門家派遣や相談窓口を利用したことがありますか。利用したことがある場合、特に役に立った分野についてお答えください。

(単位：%)

(複数回答：3つ以内)

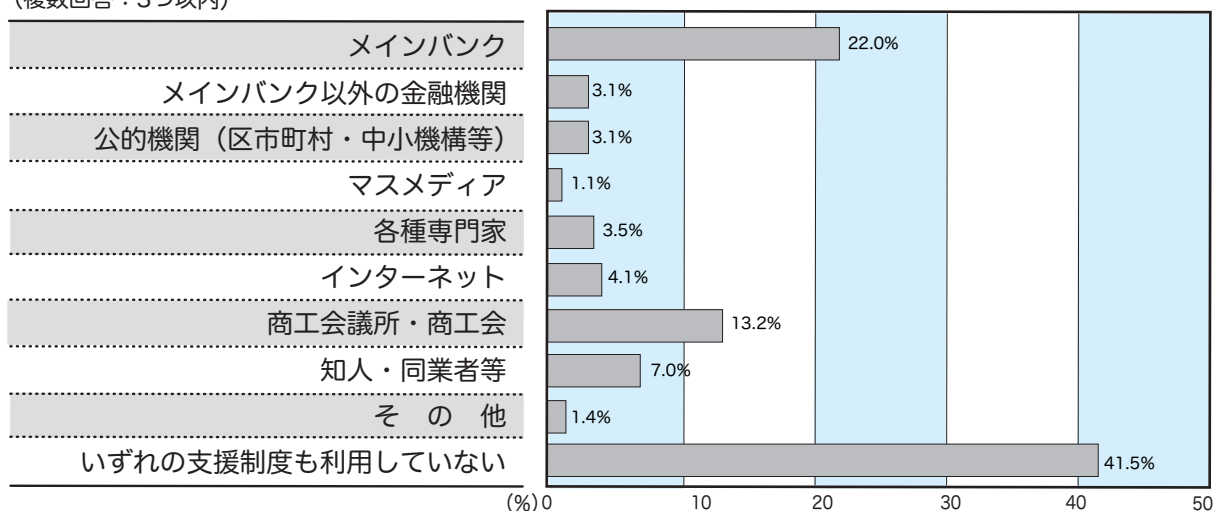


## 問5

問1～4のような支援制度を利用するにあたり、それらの情報を主にどこから入手しましたか。

(単位：%)

(複数回答：3つ以内)



## 地域活性化融資

# 「上昇機運」

短期間の資金もご利用できます。

売上増加

経営安定

収益向上

宣言!

ユーシンは、中小企業の皆さんを応援し、地域の活性化をサポートします。

ご融資金額：最高 5,000 万円

ご融資期間：10 年以内

お取扱期間

平成30年4月2日(月)～平成31年3月29日(金)

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。  
※取扱内容については、裏面をご覧ください。

詳しくはお近くの結城信用金庫までお気軽にお問い合わせ下さい。

### — 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地  
TEL (0296)32-2110 FAX (0296)33-0414  
Eメール yukisb@intio.or.jp <http://www.shinkin.co.jp/yuki/>